



Interview

新しい中学校での抱負



楽しい学校のための「仲間づくり」

津久見中学校初代生徒会長になった、中島琴音です。私の新しい中学校での抱負は、「仲間づくり」です。一中・二中が統合し、環境が大きく変わってからのスタートになります。その中で、「学校が楽しい、行きたい」と思う人が多くなるような学校をつくりたいと思います。そのために、生徒会活動で絆を深める活動を取り入れていきたいです。また、日常生活の中でも、自分からたくさん人と関わって、学校を「楽しい」と思える人を増やしていきたいです。

津久見中学校が地域の方々から愛されるように活動していきます。これからの活動を温かく見守っていただけると嬉しいです。

津久見中学校3年
第二中学校出身
中島 琴音 さん



積極的に挑戦できる環境づくり

津久見中学校初代生徒会長になった、寺元修大です。僕は、新しい中学校を「自由・協調性・積極性」のある学校にしたいです。これは生徒会の三本柱になっています。この三つを達成することで、過ごしやすい学校になると思います。達成するためには、みんなが積極的に委員会や苦手なことに挑戦できる環境をつくっていききたいです。一中二中から集まった一人ひとりの力を集結し、いろいろな困難を乗り越えていきます。そして、体育祭や生徒会の活動を通して、少しずつ全校の絆を深めていきたいです。

これまで新設中学校の開校に携わって下さった方々や地域の方々への感謝を忘れず、これからの学校生活を送っていききたいと思います。これからの津久見中学校をよろしくお願いします。

津久見中学校3年
第一中学校出身
寺元 修大 さん



■ 4月に入学する皆さんが集合！(3月12日)



津久見中学校 開校 新たな歴史の始まりに

中学校の入学生徒数減少などの理由から検討が始められた、第一中学校と第二中学校の統合計画。津久見市中学校統合検討委員会が発足した平成29年6月から約7年の歳月が経過し、令和6年4月に、津久見中学校が開校します。真に子どものための学校づくりという理念を中心に据え、これまで多くの議論を重ねて到達した、発展的統合という大きな判断。第一中学校と第二中学校という歴史ある学校の閉校と引き換えに、伊勢正三さんによる校歌や、生徒が考案した校章など、津久見に新しい価値を生み出しました。新たな学舎が、津久見の子どもたちの未来を拓く力を育み、大きな夢を抱いて羽ばたくための礎となることを願っています。

津久見中学校 校章



生徒の皆さんが考案したデザインを元に、最終デザインのまゝ津久見市出身の根之木英二別府大学特任教授に依頼し作成した校章です。

3つの「つ」が、つながった形で構成され、学びにつながり、友情につながり、希望へつながる中学校を表現しています。

